少し、ドキドキ　今日からぼくら、1年生　（黒岩小学校　入学式）

# さかわ Sakawa 議会だより

42
2010.5.1

## 3月定例会

contents　目次

桜並木とふれあいの里尾川

第３子以降、保育料無料化　4
通学路の安全点検行え（一般質問）　10
わがまち人　宇宙桜を育てて　18
旧佐川中の利用方法は（あの質問のゆくえ）　20

平成22年度の一般会計予算は約60億4795万円、前年に比べて1億4830万円の減です。国からの臨時交付金を活用し前倒しした事業を考慮すれば、実質的にはほぼ前年並みとなっています。

依然として厳しい状況が変わらないなか、子育て支援、医療・福祉の充実、防災対策を優先的に確保し、住民との協働の観点から、メリハリをつけた予算となっています。

ただ、前年度に引き続き、緊縮型の厳しい予算編成となっています。

## 子どもたちの明るい声が響く町を目指して
## 子育て支援、教育環境、医療・福祉　を優先

# 4,795万円

## 平成22年度一般会計予算は
# 賛成11、反対2で可決

一般会計予算とは・・・　佐川町の福祉・教育・防災対策など、住民サービスを行い、町政運営に必要な大事な予算です。年度初めの一般会計予算は当初予算と呼ばれ、1年間の町の運営が賄われます。

【賛成議員】
森　正彦、片岡　勝一、松浦　隆起、岡村　統正、中村　卓司
西村　清勇、氏原　義幸、今橋　寿子、嶋﨑　正彦、徳弘　初男
藤原　健祐
【反対議員】
坂本　貞雄、松本　正人

3月定例会は、9日より12日までの会期で開かれました。

平成22年度一般会計予算をはじめ平成21年度補正予算、条例の制定や改正などが上程され、議案39件、報告1件、同意案1件、を審議し、全員賛成及び賛成多数で全件可決しました。議員発議による意見書1件は否決されました。

## 歳入 入るお金

**（町民自身で賄うお金）**

22年度の自主財源（町民自身で賄う町の運営費）は約15億2444万円。内訳は町民税や固定資産税などの町税が昨年より微減の約10億6634万円。その他、施設の使用料や窓口手数料、財産収入などを含めたものです。

**（国や県からくるお金）**

地方交付税（国税の中から地方に配分されるもの）は微増の24億8300万円。国庫支出金（国と協力して行う事業や教育などの財源として国からくるお金）は2097万円増の4億8766万円となっています。

## 歳出 出るお金

人件費は昨年より微減の9億1248万円。普通建設費は斗賀野小耐震補強工事等、霧生関公園（仮称）建設事業、歴史まちづくり整備事業等、7億1350万円となっています。

22年度予算を打ち出す榎並谷町長
「住民との協働事業への転換をキーワードに・・・」

# 平成22年度 一般会計予算 60億

| 会計名 | | 本年度予算総額 | 前年度予算総額 | 比較増減 |
|---|---|---|---|---|
| 一般会計 | | 60億4,795 | 61億9,625 | △1億4,830 |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 18億4,247 | 18億2,115 | 2,132 |
| | 老人保健 | 16 | 230 | △214 |
| | 住宅新築資金等貸付事業 | 824 | 1,423 | △599 |
| | 学校給食 | 5,734 | 5,684 | 50 |
| | 農業集落排水事業 | 2,501 | 2,580 | △79 |
| | 特定環境保全公共下水道事業 | 621 | 689 | △68 |
| | 介護保険 | 15億5,424 | 14億6,116 | 9,308 |
| | 後期高齢者医療 | 1億9,200 | 1億8,873 | 327 |
| | 水道事業 | 2億6,715 | 2億2,928 | 3787 |
| | 病院事業 | 17億3483 | 19億4,864 | △2億1,381 |
| 総計 | | 117億3,560 | 119億5,127 | △2億1,567 |
| 重複額 | | 7億3,163 | 10億6,129 | △3億2,966 |
| 全会計純計 | | 110億0,397 | 108億8,998 | 1億1,399 |

（単位・万円）

※水道事業および病院事業会計の予算額は（収益的支出額＋資本的支出額）を計上

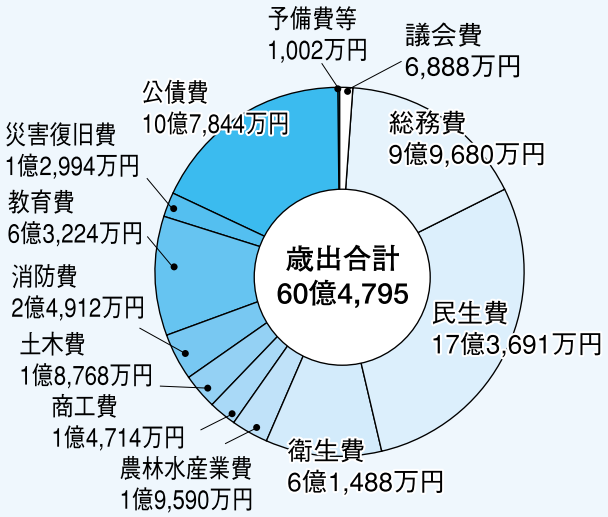
～大切なお金、どう生かす～

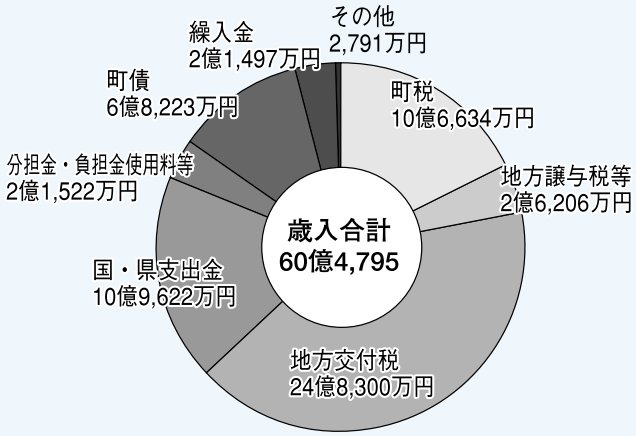
私たちの「ふるさと、さかわ」を守り育てる、主な事業にクローズアップしてみました。

# クローズアップ

## －22年度予算－

## 22年度 一般会計予算




## 第３子以降の３歳未満保育料を無料化

## 中学生以下の子どもに 1万3千円 1億9,936 万円

## 子育て支援対策

国の施策により「子ども手当」として、本年度は児童手当とあわせて、中学生以下の子どもを対象に1人13000円が支給される。（6月支給分は、児童手当2ヵ月、子ども手当2ヵ月となる）

多子世帯保育料等軽減事業として、第3子以降3歳未満で、18歳未満の子どもが3人以上いる場合、保育料が無料になる。

## 斗賀野小学校
## 耐震化・大規模改修工事
## 1億2,399万円

防災対策として、斗賀野小学校の耐震化と大規模改修工事を行う。
また、黒岩小学校、尾川小・中学校の耐震診断・設計も実施する。

安心な校舎に生まれかわる斗賀野小学校

## 歴史まちづくり整備事業
## 8,691万円

上町に移築完了した佐川文庫庫舎（旧青山文庫）周辺の民有地の購入、以前本町にあった鉄道客車の設置を行う。

多くの人たちが訪れる上町に

## 旧佐川中学校校舎解体工事
## 1億 416万円

佐川中学校の新校舎移築に伴い、解体工事を行う。

卒業生にとって思い出深い校舎

## 地産牛乳販売促進
## 加工品開発事業
## 500万円

農商工連携による地産牛乳の新商品の開発や販売促進に取り組むもの。

# 3月定例会で決まりました

## 条例改正

### 町長の報酬を引き下げ

町長の報酬を月額200円引き下げ、69万8000円にするもの。
（4月1日施行）
（賛成・全員）

### 退職手当の支給制限処分審査会に諮問

退職手当の支給制限等の処分を行う場合に、町長が諮問する審査会を設けるもの。
（4月1日施行）
（賛成・全員）

### 要介護認定の情報開示1件50円に

介護保険の要介護認定にかかる情報開示の手数料として、1件50円を徴するもの。
（4月1日施行）
（賛成・全員）

## 国民健康保険税 年・900～17,900円の増額

介護保険給付費の伸びにより、介護保険納付金課税被保険者（40歳～64歳）の保険税について、国保中央会の推計方法により試算を行い、モデルケースで、年額900円から1万7900円の増額となる。
（4月1日施行）
（賛成11・反対3）

利便性が向上した児童クラブ

### 児童クラブ5時50分まで延長

斗賀野小学校の児童クラブを廃止。佐川小学校の児童クラブの定員を20人から50人に増員し、終わりの時間を20分延長して5時50分までとなる。
（4月1日施行）
（賛成・全員）

## 指定管理者の指定

| 管理を行わせる施設 | 管理を行う団体 |
|---|---|
| 加茂地区住民センター老人憩いの家 | 加茂地区部落長会 |
| 斗賀野あおぞら公園 | NPO法人　とかの元気村 |
| 佐川町多目的集会施設 | コスモス農業協同組合 |
| ふれあいの里尾川 | 尾川地区活性化協議会 |
| 佐川町立虚空蔵山わんぱく広場 | NPO法人　とかの元気村 |
| 佐川町立図書館 | NPO法人　とかの元気村 |

## 物品購入契約締結

平成21年度学校情報通信技術環境整備事業に伴う物品購入契約（各小・中学校にデジタルテレビ66台、電子黒板7台を購入設置するもの）
（契約の方法）
随意契約
（契約金額）
1，918万3500円
（契約の相手）
有限会社　坪屋電機

## 人事

### 教育委員

川井　正一　氏
南国市岡豊町常通寺島77番地1

# 議案質疑

新年度予算に対して、各議員から出された質問の主なものを紹介します。

## 22年度予算の中心は

**中村議員**　22年度の予算案は、何を目指し、何を中心にしたものか。

**榎並谷町長**　本町が直面している諸問題、あるいは、将来にわたって振興を図れるものに重点を置くのが予算編成の基本だと考えている。霧生関公園の総仕上げの最初の年だと考えている。福祉関係、教育関係にきめ細かな配慮をしながら予算編成をさせていただいた。

## 霧生関公園 無駄遣いではないか

**松本議員**　霧生関公園は、佐川中学校建設に伴う付帯工事のような形ででき上がるものだと理解している。今年度の2億円を含めて、総額7億円が投じられる。これだけのお金を、一公園にというのは、大変な無駄遣いではないか。

**榎並谷町長**　霧生関公園は、単に今発生したものではなく、十数年前に、町の事業に関連して用地を買収させていただき、後々は運動公園にするということでスタートし、様々な経緯があり、実現していなかったと認識している。時間をかけても初期の目的は運動公園である。7億というのは、大きなお金だが、町民に負担のかからないように、辺地債を活用した。防災面だけでなく、医療面も含めて、緊急ヘリ用のヘリポートも将来的には設置する予定だ。少なからず、町民の方に、まったく無駄であるというふうには、ならないような使い方をさせていただきたい。

工事費に見合った公園の姿が求められる

## 学校の耐震化の計画は

**中村議員**　学校関係の耐震化は、今後、どういった段階で進めていくのか。

　また、文化センターの耐震化の計画はあるのか。

**藤田教育長**　22年度に斗賀野小学校が完成する。次に、黒岩小、それから尾川小・中、黒岩中という形で進めていきたい。25年には完成する。

　文化センターの耐震化も検討をしている。町全体の中で、学校以外は、町長部局と話し合いをしていくことになるのではないか。

## 大阪大学との共同研究、投資すべきでない

**松本議員**　水の科学に関する、大阪大学との共同研究は、性格的に本町にはそぐわない。結果的に利益を追求する研究にお金を出すべきではない。

　当初、少ない投資で行うとの説明であったが、毎年お金が投じられている。お金の使い方を考えるべきではないか。

産業高度化技術開発室の移転が予定されている四電工跡

**榎並谷町長**　町内に在住する有能な人材の知恵を借りて、新しいものづくりに協力をしていただいたらどうかというのがスタートだ。文教の町にふさわしい人づくりに大きな役割を果たしてくれると、最小限の投資をさせていただいている。将来にわたって、よかったと思われることに期待をしたい。若干、時間がかかるが、長い目で見ていただきたい。

平成21年度

## 3月定例会　補正予算

# 一般会計補正　1億1,218万円

平成21年度3月補正予算　（単位：万円）

| 会計名 | | 補正額 | 補正後の額 |
|---|---|---|---|
| 一般会計 | | 1億1,218 | 70億0,636 |
| 特別会計 | 国民健康保険 | △1,678 | 18億4,016 |
| | 老人保健 | △170 | 2,707 |
| | 介護保険 | 612 | 14億7,706 |
| | 後期高齢者医療 | △5 | 1億8,929 |
| | 病院事業 | 888 | 19億5,752 |

※病院事業は、収益的支出額＋資本的支出額

## 国の経済対策交付金2億5,078万円を効果的に活用

地域活性化・公共投資臨時交付金1億6473万円を、佐川中学校建設事業の財源に充当し、当初予定した、地方債（借入金）1億8560万円を減額し、不足分2087万円を積立金で対応した。

## 地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業
## 1億1,295万円

地域活性化・きめ細かな臨時交付金8585万円を、活用し、一般財源2710万円を充当し、町道の修繕や、学校関係の改修など行う。

### 町道・農道等の改修、新設事業　5945万円

原島農道の改良や町道舗装等修繕工事、ガードレールの設置を行うもの。

### 斗賀野小学校体育館内装改修工事　2455万円

### 土地開発公社へ補助金　1億1248万円

土地開発公社の解散に伴い、借入金及び利息の精算をするもの。

さらに延伸される原島農道（黒岩）

9人が町政を問う

# ここが聞きたい

松浦　隆起　議員

子宮頸がん

## 予防ワクチン接種の公費助成を

町長　**現段階では消極的**

若い女性に増え続けている子宮頸がんは、検診とのセットで予防ワクチンを接種することで、ほぼ100％予防できる唯一のがんといわれている。高額の負担を軽減するため、公費助成を表明する自治体が増えている。本町でも行うべきだ。

**榎並谷町長**　諸外国では、活発に利用されているが、日本では慎重論がある。国、県の動向を見据え、将来的にはこの重要な命を守るという施策については考えなければならない。ただ、現段階で、いきなり公費助成というのは、消極的な考え方だ。

身近な所に危険箇所が、情報の共有を

協働のまちづくり

## 職員が住む地域の情報を上げる仕組みを

町長　**広報紙配布時に情報収集**

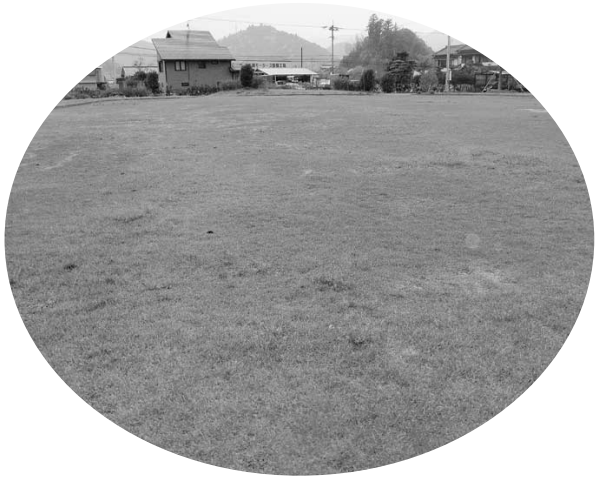
協働のまちづくりを真に進めるためには、行政側がしっかりと地域に入っていくことが大切だ。その取り組みの1つとして、職員が自分の住む地域の要望や、修繕の必要な箇所の情報などを定期的に報告する仕組みを作ってはどうか。そのことにより、様々な情報が、今までよりも早く役場に届くことになる。

**榎並谷町長**　広報紙の配布時に、部落長さんから情報を頂く、ハンドトゥーハンドという制度をやっている。今後、さらに拡充しながら、意識を持って接していけば、ある程度の情報はつかめると考える。

教育環境

## 校庭の芝生化の取り組みを

教育長　**検討したい**



芝生は子どもたちに元気をくれる

鳥取方式の校庭の芝生化は、教育上の効果や、学校と住民との交流で地域の活力を生む契機にもなるといわれており、全国で広がりを見せている。低コストで芝生化が可能であるこの方式を活用し、校庭の芝生化を本町でも取り組むべきだ。

**藤田教育長**　実施している鳥取に問い合わせを行い、本県でも取り入れ可能という条件が整えば、試験的に、一部始めてみるという考え方もある。クリアしなければいけない面もあり、検討させていただきたい。

人口減少問題

## 子育て支援策に力を入れよ

森　正彦　議員

町長　**おろそかにはしていない**

町長は観光による町の活性化を公約として取り組んでいるが、観光による町おこしよりも、住む人の満足による施策を実施することにより町外から移住者が増え、経済効果が大きい。観光施策よりも有効な手立てになる子育て支援施策に力を入れるべきだ。

**榎並谷町長**　少子化対策は国策で行うべきだが、町としてもこれまで新しいことに取り組んできた。しかし、現実を見たときに功を成したとは言えない。お金を投入しないから、少子化対策をおろそかにしているとは考えない。観光施策は国も投資のいらない活性化策として取り組んでいる。佐川町の歴史と文化を町民の皆さんとともに愛しながら、観光振興に取り組んでいきたい。

豊作を願って、早くも田植え

農業振興

## 危機的状況、どう対処

産業建設課長　**補助事業を活用**

農業は本町の産業として最も重要である。稲作は面積も農家も多く、価格の低下と高齢化で耕作放棄地も目立ってきた。この危機的な状況にどう対処するのか。

また、園芸振興も重要であり、今後就農を希望する若い人たちを含め、失敗をしないように支援すべきだ。

**渡辺産業建設課長**　水稲経営を取り巻く環境は大変厳しい。今後は集落営農への取り組みや中山間地区直接支払制度等の補助事業を利用して農地を守って行きたい。

園芸振興と後継者育成については、新規就農支援資金を活用してアグリ窪川や地元の農家で事前研修を実施しており、今後も新規就農を支援していきたい。

安全対策

## 通学路の点検したか

教育次長　**ＰＴＡが行い、要望が出ている**

通学路の安全は不可欠だ

佐川中学校が移転をし、通学路が変わったが、その際安全点検はしたか。自転車で学校の駐輪場から道路に出る際に車と接触する可能性があり、地質館からマルナカの間も防犯灯がなく、夜間は暗くて危険であるとの住民からの指摘があった。また、通学路の白線が消えている。順次対処すべきだ。

**岩本教育次長**　佐中の移転を想定して、ＰＴＡが安全点検をして要望が出ている。移転後、半年たち、新たな問題もでてくるかと思われるので各担当課と連携して対応したい。

**味元総務課長**　防犯灯は防犯灯設置補助規定に沿って、設置している。各地区の部落からの申請になる。

道路整備

## 春日川左岸の整備急げ

**産業建設課長　22年7月に完成予定**

**渡辺産業建設課長**　春日川左岸の道路は、通勤・通学、ウォーキング等の利用も大変に多い。県の河川占用の許可が22年4月におりる見通しであり、7月中には完成をさせたいと思っている。

徳弘　初男　議員

健康福祉センターかわせみより西佐川駅前までの、約800mの春日川左岸は、伏尾団地、三野部落、青去部落の住民の通勤、通学路として多くの方が利用している。舗装、防護柵、植栽等の整備がされていない。整備すべきだ。

整備される春日川左岸

町マイクロバス

## 買い替え、検討せよ

**副町長　12月までに結論**

町のバスは17年目になっており、$CO_2$対策により、神戸、大阪には乗り入れることができない。10年12月定例会と21年12月定例会において、車検等の区切りのよい時期に買い替えたらどうかとの、質問を行った。その後、どう検討したのか。

**西森副町長**　今後、町有のバスを持つか、持たないか、町長と抜本的に相談をしている。12月に車検がくるので、それまでに結論を出していきたいと考えている。

町政運営

## 22年度の重点政策は

**町長　すべてが重点政策だ**

今橋　寿子　議員

本町は、他の市町村と比較して職員数の少ない状況の中で、業務の内容を低下させることなく、遂行している。住民のニーズの多様化と高度化に対して、行政が簡素化と行政サービスの効率化を図るなか、22年度の重点政策をどうとらえているか。職員がやる気を生む、生まないも、その職員を大切に育てていくという行政のトップの考え方だと考える。

休職者もいる状況のなか、それぞれの業務量に対して組織体制は十分か。

**榎並谷町長**　町政運営をしていくためには、すべてが重点政策だと考えている。主には上町まちづくり、霧生関公園の仕上げ、インフラの整備など多岐にわたっている。

健康を害して休職中や育児休業の職員もいる。それぞれ協力をしあい、事業の性質を十分踏まえ、職員の一人ひとりが十分能力を発揮できるような体制をとり、職員の英知を集め、住民サービスの低下にならないように頑張っていきたい。

ソニア存続問題

## 今後の方向性は

### 町長　存続させ、地域の核にしたい

中村　卓司　議員

町長は、株式会社ソニアの赤字が年間1億になっていることは、何が原因と考えるか。高く仕入れて、安く売る。そんな商売の方法は、経営能力のなさといわざるを得ない。経営者の自覚が足らない。

　ソニアは残さないといけないと思うが、本町は手を引くべきだ。最終的にどのような、方向性を考えているのか。

**榎並谷町長**　何とかソニアを存続させ、この地域の核にしたい。ただ、経営者としての責任が欠如しているといわれても、結果論から見て当然だ。

　町民の税金が無駄遣いになったと認識しているが、製材としては、県下有数の機能を持った設備と勉強した若い職員がいるので自立できると確信している。ただ、15億余りの資金が枯渇しており、公的資金投入が不可欠であり、3町の議会に承認を得なければならない。今後、専門家や議員の皆さんに入っていただき、経営のあり方について、早急に結論を出したい。

柳瀬川改修

## 具体策を示せ

### 町長　国、県に働きかけ、粘り強く行う

黒岩地区は、水害対策のため越知町と合同で水害対策の会を立ち上げ、運動をさらに拡大させ、住民の声を町、県、国へ働きかけようとしている。その声を受けて、町長としての具対策を示せ。

**榎並谷町長**　この事業は、一旦廃止された事業であり、今の経済状況から一気に解決ということは厳しいと判断している。いろいろな人たちの力を借り、国、県に働きかけ越知、佐川町両行政とも力を合わせ、運動を粘り強く行う。

いつになる柳瀬川改修

地域活性化

## 市民農園進めよ

### 産業建設課長　農協、農業委員会に申し入れる

今、若い方、特に定年退職された方の、農業への関心が高まっている。町内に市民農園と、農産物販売の観点から道の駅の設置を進めてはどうか。

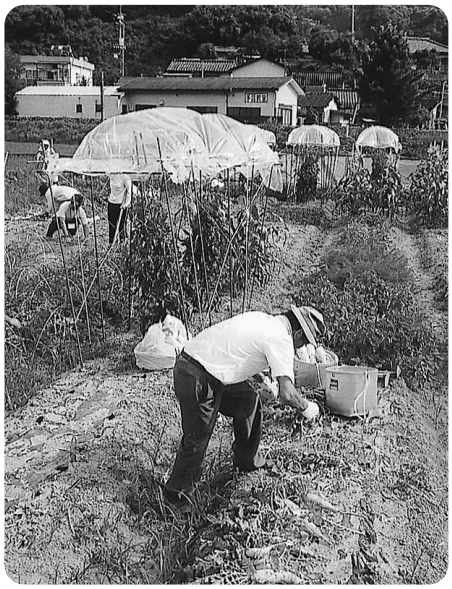
**渡辺産業建設課長**　現在、本町では県が主体となり、空き家調査を行っており、空き家農園、市民農園の具体的な検討を農協と農業委員会に申し入れている。

**榎並谷町長**　道の駅の今の形態から申し上げると、正規の大規模なものが本町で手幅にかなうか懸念がある。

その他の質問

○　中学校の部活数を増やすべきだ。

○　医療費助成を中学生まで対象にしてはどうか。



関心の高い市民農園

国民健康保険

## 医療費無料化にペナルティーあるか

町民課長　調整交付金で減額

国保の保険料が高い。原因は国庫負担率の低下にある。国庫負担率を引き上げるべきだ。町独自の小学校卒業までの医療費無料化に国がペナルティーをかけているか。

**榎並谷町長**　国の制度に云々は厳しいが、国民の負担を軽くしてほしい思いはある。

**藤本町民課長**　地方単独事業には、調整交付金でペナルティーを下す制度があり、減額措置がとられている。

坂本　貞雄　議員

医療費無料化が子どもたちを守っている

国民読書年

## 大人の副読本発行せよ

産業建設課長　関係各課で検討する

国民読書年の教育委員会としての取り組みは。また、国民読書年にちなんで歴史的風致維持向上計画事業の一環として大人の副読本「佐川の歴史」を発行してはどうか。

**藤田教育長**　特に、読書年の取り組みはしていないが、ここ数年間、学校では朝の10分間読書等、読書ということに力を入れて取り組んでいる。

**渡辺産業建設課長**　町民に知らせることを第一に関係各課で検討したい。

小学校副読本「佐川のくらし」と事業計画書

後期高齢者医療

## 保険料はいくら上がるか

町民課長　広域連合と県で調整される

後期高齢者医療制度廃止の先送りで保険料はいくら上がるか。また、75歳以上の入院が90日を超えると診療報酬が引き下げられるか。高北病院では例があるか。

**藤本町民課長**　抑制策を講じなければ、13・5％、7千円ぐらい上がる。剰余金・財政安定化基金の活用で5％以下となるよう広域連合と県で調整されている。

**戸梶病院事務局長**　一般病棟では下げられる。高北病院では療養病床に移るので、引き下げはない。

その他の質問

○佐川のお宝を観光に生かし、町の活性化を図るべきだ。

通学路の安全対策

## 防犯灯設置、進まないのは官僚主義の典型

松本　正人　議員

町長　**抜本的議論必要**

佐川町ＰＴＡ連合会より毎年のように通学路の防犯灯設置の要望が教育委員会に寄せられているが、教育委員会ではそのたびに防犯灯は各部落の責任で設置、管理を行っているので、そちらで対応してもらいたい旨の回答をしている。これではいつまでたっても前に進まない。

これは官僚主義の典型ではないか。

**榎並谷町長**　防犯灯については、様々な地域から要望が出ている。町の要綱に沿って設置しており、通学路に限定した対応はしていない。限定した対策を考えるとなると全町的な対応が迫られる。抜本的に設置に対する考え方を議論しなければならない。

霧生関公園

## 工事の遅れなぜか

町長　**複合的要因による**

いまだ工事は進まない

霧生関公園は中学校の建設に伴った残土処理と平行して公園整備事業が立ち上がったものだ。現在、現場には大きな穴があいたままとなっている。一昨年の９月議会での答弁ではその年の11月に埋め立てが完了すると答弁されていた。なぜこのようなことになっているのか、また、この事業には全体でいくらかかるのか。

**榎並谷町長**　工事が遅れた要因は、残土処理の設計のまま、公園としての開発許可をとらずに公園化工事に着手したことと、地権者の同意を得るのに時間がかかったこと等の複合的要因による。

**味元総務課長**　平成23年度までで総額６億９７００万円。約１億４千万円の一般財源が必要となる。

町営住宅

## 選考委員会の条例改正を

町長　**適正でないとは言えない**

町営住宅入居者選考委員会への町議会議員の選任について、前回の議会で質問し、町長は「おかしいとは思わない」という答弁だった。

平成16年に県議会が知事宛に、法律または政令で就任を定められているもの以外は就任しないという文書を議長名で出しており、県条例が改正されている。本町でも、改めて条例改正に向け検討するべきだ。

**榎並谷町長**　これは、議員個々の思いの問題であり、私の方から議員に委員会に入ったらいかんとは言えず、適正でないとも言えないと思っている。

その他の質問

○　合併浄化槽の普及を。

○　ファイティングドッグス宿舎、費用対効果どう見る。

○　新型インフルエンザ接種の助成を。

○　森林間伐の啓蒙に力を入れよ。

○　旧佐川中の取り壊しは。

○　ホームページ町広報など、過去の分の掲載も。

○　医療費の無料化を中学生まで行うべき。

道路管理

## 消えた白線、引くべき

### 産業建設課長　緊急順位つけ、検討

中野農面道路は、車通りの激しい道となっている。中野トンネルから、黒岩中学校までの間は、白線が消えて道幅がわからない。この間の白線を引けないか。

**渡辺産業建設課長**　中野、瑞応の水道管の布設替えをする際に、一部、引き替えができている。町内一円、全般的にこういった傾向が見られるので、22年度の予算の中で、緊急順位をつけ検討していく。

西村　清勇　議員

完全に消えている白線

水道管理

## 水道タンクの清掃は

### 産業建設課長　計画的に清掃する

本町の水道タンクの清掃回数が、他町村と比べて少ないのではないか。きれいな水を供給するためには、定期的な管理が必要とされる。水道タンクの清掃など、どういった管理を行っているのか。

**渡辺産業建設課長**　清掃についての明確な基準はないが、現在も定期的に清掃しており、22年度以降も順次計画的に清掃する。水質検査は水道法に基づき毎月実施している。

清掃が終了している猿丸タンク

下水道事業

## 予定地をパークゴルフ場に

### 町長　結論めいたことは言えない

本町では、合併浄化槽が普及しており、下水道事業は難しいと考える。本町には、奥の土居に桜があるというだけで、イベントがない。

処理場予定地を子どもから大人までができるパークゴルフ場にしてはどうか。

**榎並谷町長**　下水道事業は現在休止という形をとっており、将来性を見ても実施については非常に困難性があると認識している。今、処理場予定地をどう利用するかについて、結論めいたことを答弁するには時期が早い。

その他の質問
○　西谷の町道にガードパイプを

災害復興

## 支援策、どう考える

### 町長　議会と相談しながら行う

**片岡　勝一　議員**

本町では、現在、募金活動を行っている事業にさらに支援を行う場合、そのたびごとに募金活動を行うのか、それとも、町の予算を計上して支援を行うのか、どのように考えているのか。

**榎並谷町長**　鳥取沖地震の時は、南部町に義援金を送った。また、阪神淡路の災害時には、西宮市に本町から物資支援を行った経緯がある。

今後、緊急事態も想定されるが、災害が起きた場合、予算計上しなくても、その時は議会と相談しながら行う。

最近、災害の頻度が高い。外国ではハイチで20万人とも言われる死者が出ている。チリでの犠牲者は、700人とも800人とも言われている。

この支援に各国、わが国も支援の手を差し伸べている。新潟県中越地震では、新潟県農業会議が義援金口座を開設し、その取り組みに越知、佐川農業委員会も賛同した経緯がある。

# 特別委員会

## 国道494号佐川バイパス整備促進特別委員会

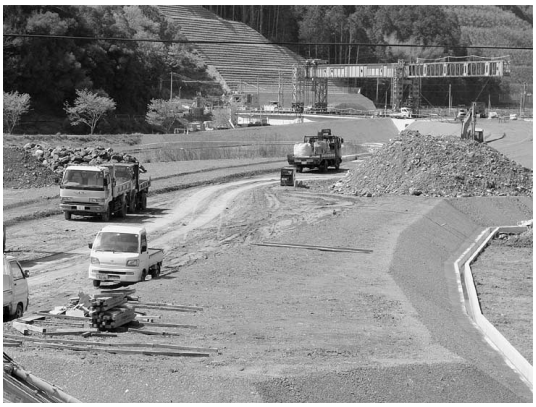
### 整備の現状と今後の計画　調査日1月25日

委員長　**中村　卓司**

### 22年度には岡崎まで完成予定

中央西土木事務所越知事務所所長他2名の職員に出席を願い国道494号佐川・吾桑バイパスの整備状況と概要説明をうけ、その後、現地視察をした。

この改良工事は佐川町川内ヶ谷から須崎市吾桑までの総延長5・93キロメートル、全体事業費205億円で、平成6年度から事業開始されている。



22年度開通に向けて、工事は順調

現在工事進捗率71パーセントで21年、22年度で新柳瀬川橋上部工と舗装工を実施し完成予定とのことだ。

### 岡崎、鳥の巣間は、一時凍結

ビーバイシー〔費用対効果〕の面からも一時凍結が決定されている。

斗賀野トンネルから須崎市と佐川町境界間は21年度で設計完了し22年から順次用地買収する予定である。

### 早期全線開通を

佐川管内はもとより、全線早期に完成を目指して県、町一体となって推進していくことを確認した。

# 常任委員会レポート

**総務文教常任委員会**　　調査日1月25日

## 税、使用料の収納状況
## 施設管理（旧）佐川中学校

委員長　**徳弘　初男**

### 収納率の向上目指す

21年4月1日から設置の滞納整理課及び税務課から現状の報告を受け、20年度末では、滞納繰越額は総額で3億3226万円、内8944万円を滞納整理課が受託12月時点1134万円を収納している。また、債権管理機構に3555万円を委託、1607万円収納している。今後も収納率の向上を目指し努力していく。

### 旧佐川中学校校舎は取り壊す

教育委員会より説明を受け、現地調査もおこなった。校舎も含め不適格、危険建物の調査結果が出ており、耐震補強、修繕、取り壊し費用、管理形態などを含め検討した結果、原則として取り壊さなければならないとの指摘があり、庁議で協議し取り壊しを決定している。

### グラウンド、柔剣道場は社会体育施設として活用

現文化センターのグラウンドは中学校が使用していることから代替として社会体育施設としての活用を考えているとのことだ。

### 新たな滞納をつくらせない

本委員会としては、滞納繰越の収納も大事だが2～3ヵ月の滞納で保証人への通知、請求するなど、新たな滞納をつくらせないことも重要だ。

旧校舎内には備品も残っており不用心だ、早急に管理体制をとり対応するべきである。

**産業厚生常任委員会**　　調査日2月22日

## 農業振興
### 農業後継者の支援策と実績

委員長　**今橋　寿子**

### レンタルハウス事業で後継者つくり

レンタルハウス事業概要は、平成5年から町の単独事業として創設、平成8年から県単独事業として実施されて現在に至っている。

### 利用者は現在47名、面積879.49a

利用者は合計47名、面積は879.49aとなっている。補助内容は、新設、中古ともに県5分の2、町3分の1、対象者負担（レンタル料）15分の4、限度額は10aあたり新設700万、中古320万円。

### 新規就農支援事業で新たな農業者を

就農研修生に月15万円、指導農業士の認定を受けた研修受け入れ農家に月額5万円を支給し、補助率4分の3の制度で、本年度は1名とのことだ、この研修生のレンタルハウスを現地調査した。

### 地域の活性化に貢献

ニラ栽培は、路地、ハウスの併用で年間を通じて栽培でき、安定した収入と同時に、束ね作業が主婦、高齢者の就労の場にもなっており地域の活性化にもつながっている。

### 支援策の充実が必要

今後の課題として少子高齢化による荒廃農地の増加が見込まれることから、新規就農者に対する支援策の充実に努めていく必要がある。

わがまち人

わがまち「人」では、この佐川のまちで元気に活躍されている方にスポットをあて紹介します。
今回は、宇宙を旅したワカキ（稚木）の桜の発芽に成功された田村一水さんにお話を伺いました。

田村　一水　さん

# 山野の花木、宇宙桜育てています

**―武井近三郎園芸研究所の研究員とのことですが、おもにどんなことをしていますか。**

山野にある花木や草花の栽培、増殖の研究、実践、指導をしています。その縁で宇宙桜を育てることになりました。

**―宇宙を旅したワカキの桜とはどういったことでしょうか、また、どれ位に育っていますか。**

尾川小学校の子どもたちが採取し、スペースシャトル・エンデバーで若田さんのいる国際宇宙ステーションまで旅をしてきた種です。現在25センチほどに育っています。

## 佐川の桜が楽しめるように

愛情が花を大きく育てる

**―そのほかにはどんな植物などの栽培に取り組んでいますか。**

桜の花が好きで仙台屋桜や、加茂にある早咲きの山桜を接ぎ木で増やして、虚空蔵山と斗賀野峠の道ばたに植えています。ほかにも色々な種類の桜の栽培にも取り組んでいます。

**―山野のゆりの花の増殖に取り組んでいるとのことですが。**

絶滅危惧種のフクリンササユリやトサヒメユリを種から育てて増やしており、フクリンササユリは、とかの元気村の皆さんが、虚空蔵山へ１００本以上帰し植栽しました。

**―ササユリの増殖は大変難しいと聞きますが**

そうですね、種を採って蒔いてから2年しないと発芽しません。その後、花が咲くまで6年以上かかります。その点トサヒメユリは1年目で芽生え2年目から花を咲かせるので、栽培は楽です。

宇宙を旅したワカキの桜

**―最後に今後に向けて一言お聞かせ下さい。**

佐川の野山を四季折々の花で彩りたいですね。また、河津桜という品種は2月中旬から咲きます。他にも多くの桜を植え、佐川の桜が楽しめることになったらいいですね。

**―今後も植物の研究、増殖を続けていって下さい。ご期待いたします**

あなたの周りの人知れず「佐川のまち」の元気のために活躍されている「人」をぜひ、ご紹介して下さい。
ご連絡は議会事務局まで。

♥佐川に恋して♥

# 佐川町へのラブレター

片岡（かたおか）　郁実（いくみ）さん

■この仕事を選んだ理由はなんですか。

小さいときから保育士になることが夢でした。子どもたちと接することが好きですし、あこがれでした。

■仕事は楽しいですか。

保育の遊びの中で、子どもたちの日々成長していく姿を見ていけることが楽しいです。

■趣味はなんですか。

音楽鑑賞と映画鑑賞です。

■どんなタイプの男性が好きですか。

面白くて、一緒にいて楽しい人ですね。

将来子どもたちに夢を与える先生になってください。これからもがんばってください。

## 上町、歴史まちづくり　発進

### 佐川文庫庫舎（旧青山文庫）移築・復元　完成

4月3日、晴れやかな空の下、佐川文庫庫舎（旧青山文庫）の移築・復元工事落成式典が行われた。

昭和53年以来、民具館として佐川町総合文化センター構内に、その白亜のたたずまいをみせていた佐川文庫庫舎が、なつかしい上町の地に80年ぶりに帰ってきた。

この移築は、国が行っている、「歴史まちづくり法」に基づいて行われている歴史的風致維持向上計画の一環として、国からの補助を受けて行われる5年計画のうちのひとつ。

この法は、それぞれの地域に残されている風情や昔ながらのたたずまいを維持しながら、長く継承していくことを目的としている。

まちなみとともに、「文教の町」の礎をつくった先人の心も継承し、観光に訪れる人たちをもてなしたい。

# 追跡 あれはどうなったが？

建物跡地の利用は、いまだ決まっていない

## 旧佐川中学校の利用方法は

（平成21年12月定例会）

旧佐川中学校の利用方法は決まったか。
取り壊す場合の跡地利用は。町民の中に春日荘のような施設を作ってもらいたいとの声がある

（氏原義幸　議員）

## 教育次長答弁

## 社会体育施設として活用

22年度当初予算に計上し、年度内に取り壊すことになっている。
グラウンド、柔剣道場はそのまま残し、社会体育施設として活用の方向で、検討。

どうなった

## 取り壊すことになっている

移転改築時に危険または不適格建物として改築の対象となった建物であり、改築工事の完成とともに原則として取り壊すことになっている。
跡地利用は、決定していない。（町長）

# あの質問のゆくえ No.13

**あなたが選んだ議員の仕事ぶりを見にきませんか？**

**次の定例会は6月8日午前9時開会予定です。傍聴においでください。**

## 編集後記

毎回の議会だよりの編集作業は、5人の編集委員が、頭をつき合わせながら、時には喧々諤々、意見を交わしながら行っています。
そのなかでも、いちばん時間と労力を要するのが、各議員の一般質問のページです。
この原稿は、まず各議員がそれぞれ、議事録と向かい合いながら作成します。それを編集委員が、修正をしています。私も、毎回、議事録とにらめっこしながら、原稿を作っていますが、毎回反省の連続です。
「ここは、もう少し、こう聞いておくべきだった」「もう少し、詰めをしておけばよかった」と。そんな反省が多い質問ほど、原稿の作成も苦労します。
そう考えれば、質問する一人ひとりの議員が、実は、一番大事な編集委員の一人なのかもしれません。

松浦


## 議会広報編集委員会

委員長　岡村　統正
副委員長　坂本　貞雄
委員　松浦　隆起
委員　片岡　勝一
委員　森　正彦

※わかりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。



□ 発行／佐川町議会　□ 発行責任者／議長 永田 耕朗　□ 編集／議会広報編集委員会
□ 〒789-1292 高知県高岡郡佐川町甲1650-2　□ TEL （0889）22-7702　□ FAX （0889）22-7385